

進捗状況の概要

平成 27 年度においては、実施体制の準備、平成 28 年度開講科目の準備ならびに本事業の取り組みに関連した情報発信を行った。

実施体制としては、主たる自治体である香川県と、COC+代表校である本学とプロジェクト参加校である四国学院大学、香川県保健医療大学、香川高専との連携合意を締結した。それに基づき、「うどん県で働こうプロジェクト」推進協議会を設置、具体的なカリキュラム開発などを担当する「うどん県で働こうプロジェクト」教育プログラム部会を立ち上げ、それぞれ委員会において意見交換を行った。一方で、本プロジェクトにおいて中心的な役割を担うコーディネーターについては、平成 28 年度 4 月の着任の予定とした人選を行った。

香川大学内の実施体制として、事務機能を地域連携戦略グループとして独立させ連携推進体制の強化を図るとともに、事務作業の効率化および責任の明確化を行った。また、教員組織としては、地域連携戦略会議を全学横断的に活用し、学内における情報集約、情報発信および意識の共有化を図った。

平成 28 年度開講科目としては、香川大学内科目としては、全新入生を対象としている大学入門ゼミにおいて、グループワークを導入し、能動学修による授業時間外学修時間の拡大を図ることとし、シラバスを含めた開講準備を行った。それに合わせ、大学入門ゼミ担当教員を対象とした FD により、COC+事業の趣旨ならびに能動学修についての周知、意見交換を行った。また、大学入門ゼミ担当者向けマニュアル「大学入門ゼミハンドブック」において、能動学修についての記述を増強、平成 28 年 4 月の開講に向けた準備を行った。また、全学向けに、各部局等での開講中の能動学修の状況についての調査を行った。

平成 28 年度開講の大学連携科目に関連しては、本学の有する遠隔講義システムに関連して、機能の増強を行い、実施に向けた準備を行ったが、具体的な科目について検討を行った。

本事業に関連した情報発信としては、平成 27 年 2 月 4 日に、COC+キックオフシンポジウムを開催し、県内外から約 150 名の参加者を集めた。